

## 名 大 郷 土 研 究 会 の 歩 み

### 1. 名大郷土研究会の発足

昭和40年頃に、東海地区の大学で構成されていた「バスハイスクール」の各大学の活動をどのようにするかについて、高島さんと、昭和42年、43年までのメンバーとの間で議論を進めていた。バスハイスクール自体、出かける前に調査したりするなど、郷土研究会に似た活動をしていた。名大では、「バスハイスクール」から独立して、昭和42年卒業メンバーを中心に郷土研究会の前身となるような活動を始めた。「名古屋大学郷土研究会」の正式の発足は、昭和41年(あるいはそれ以降)で、発足時の中心メンバーは、昭和42年卒の保坂、松山、昭和43年卒の片山、津坂さんの各先輩であると言える。  
 ※ 設立時のメンバー：(67年卒)保坂、松山、(68年卒)片山、津坂、(69年卒)山岸、樋口さんの各先輩

### 2. 活動内容

年度	新入生歓迎踏査会	名大祭の展示(6月)	夏合宿(夏休み)	春合宿(春休み)	その他踏査会	徹夜歩行等	メンバー(○は部長)	機関紙「のすたるじす」
1964年度 (昭和39年度)			東海地区の大学で構成の「バスハイスクール」				4:高島 2:保坂、松山 1:片山、津坂	
1965年度 (昭和40年度)	熱田神宮～桶狭間		昭和42年卒メンバーを中心に郷土研究会の前身となるような活動を開始				3:保坂、松山 2:片山、津坂 1:樋口、山岸	
名 古 屋 大 学 郷 土 研 究 会 設 立								
1966年度 (昭和41年度)	熱田神宮～桶狭間			奈良(奈良女子大と交流)～柳生街道(県立女子大郷研メンバーと偶然出会う)～月ヶ瀬(地元青年団と交流)		常滑～野間	4:保坂、松山 3:片山、津坂 2:樋口、山岸 1:堀浦、西川(義)	創刊号(12月)
1967年度 (昭和42年度)	熱田神宮～桶狭間	桶狭間の戦い 名古屋城と名古屋人	飛騨路 牧戸～御母衣～高山	関ヶ原～彦根～佐和山	岡崎城～大樹寺～松平郷	小牧山～長久手	4:片山、津坂 3:○樋口、山岸 2:堀浦、西川(義) 1:西川(洋)、寺本、杉浦(秀)、井村、伊藤、塚本	第2号(12月)
1968年度 (昭和43年度)	小幡(小牧?)～長久	関ヶ原の戦い 松平氏 民衆の生活	松本～保福寺峠～松代 ～川中島～長野～松本	鳳来寺～長篠～静岡	奈良周辺 (明日香～西の京～法隆寺)	瀬戸～多治見	4:樋口、山岸 3:○堀浦、西川(義) 2:西川(洋)、寺本、杉浦(秀)、井村、伊藤、塚本 1:池田、杉浦(幸)、高木、柴田、鈴木、伴、水野、百瀬、平野	第3号(新入生歓迎号)(6月) 第4号(名大祭総括号)(12月) 第5号(昭和44年3月)
1969年度 (昭和44年度)	熱田神宮～桶狭間	尾張藩と名古屋の町	中津川～馬籠～妻籠(県立女子大とキャンパ)～南木曾(台風により途中で中止)	木曾路(雨天のため中止)?	岡崎を歩こう(名女大)岡崎城～大樹寺～伊賀八幡宮 明治村(名女大)	笠松～犬山	4:堀浦、西川(義) 3:○西川(洋)、寺本、杉浦(秀)、井村、伊藤、塚本 2:池田、杉浦(幸)、高木、柴田、鈴木、伴、水野、百瀬、平野 1:加藤(幸)、堀井、青山、北川	第6号(11月) 第7号特集「卒業生を囲んで」 (昭和45年3月?)
1970年度 (昭和45年度)	松平郷～大給城址 (松平神社・高月院)	犬山・金山城・岡崎城 加賀一揆他	信州・美ヶ原～和田峠～霧ヶ峰 ～白樺湖	飛鳥～山辺の道	小幡緑地公園(名女大) 谷汲山・横蔵寺 室生寺	柿野～明智	4:西川(洋)、寺本、杉浦(秀)、井村、伊藤、塚本 3:○高木、池田、杉浦(幸)、柴田、鈴木、伴、水野、百瀬、平野 2:加藤(幸)、堀井、青山、北川 1:近藤(吉)、新谷、殿楽	第8号(12月)
1971年度 (昭和46年度)			ひるがの高原～白山飛騨側から 平瀬道登山口の白水湖畔で二泊 (ベ-スキヤフ)～白山日帰り登山 ～白川郷			野間～師崎 (名女大と合同)	4:池田、杉浦(幸)、高木、柴田、鈴木、伴、水野、百瀬、平野 3:○堀井、加藤(幸)、青山、北川 2:近藤(吉)、新谷、殿楽 1:加藤(英)、近藤(登)、亀山、丸山、小林、岡橋、松宮	第9号(卒業生特集号)(6月)
1972年度 (昭和47年度)		愛知県の祭り	信州清里高原:美しの森で二泊 (ベ-スキヤフ)～赤岳日帰り登山 ～清里～小幡の横蔵古園 赤岳登山は白山登山よりもハード			中津川～南木曾	4:加藤(幸)、堀井、青山、北川 3:○近藤(吉)、新谷、殿楽 2:加藤(英)、近藤(登)、亀山、丸山、小林、岡橋、松宮 1:吉松	
1973年度 (昭和48年度)							4:近藤(吉)、新谷、殿楽 3:○加藤(英)、近藤(登)、亀山、丸山、小林、岡橋、松宮 2:吉松 1:伊藤(弘)、小澤、新、中村、石田、新美	
1974年度 (昭和49年度)							4:加藤(英)、近藤(登)、亀山、丸山、小林、岡橋、松宮、(殿楽) 3:○吉松 2:伊藤(弘)、小澤、新、中村、石田、新美 1:南、山口	
1975年度 (昭和50年度)							4:吉松 3:伊藤(弘)、小澤、新、中村、石田、新美 2:南、山口 1:橋本、栗原	
1976年度 (昭和51年度)							4:伊藤(弘)、小澤、新、中村、石田、新美 3:南、山口 2:橋本、栗原 1:吉本、高田	
1977年度							4:南、山口	

(昭和52年度)							3:橋本、栗原 2:吉本、高田 1:小島、西形
1978年度 (昭和53年度)							4:橋本、栗原 3:吉本、高田 2:小島、西形 1:林、岡村、酒井田、柴田(雅)、太田、熊沢、斎藤、前田
1979年度 (昭和54年度)					55.1.3 OB会 東館本店(伏見)		4:吉本、高田 3:○西形、小島 2:林、岡村、酒井田、柴田(雅)、太田、熊沢、斎藤、前田 1:西尾、佐々木、多門、西岡
1980年度 (昭和55年度)							4:西形、小島 3:林、岡村、酒井田、柴田(雅)、太田、熊沢、斎藤、前田 2:西尾、佐々木、多門、西岡 1:内野、後藤、中島、土川
1981年度 (昭和56年度)							4:林、岡村、酒井田、柴田(雅)、太田、熊沢、斎藤、前田 3:西尾、佐々木、多門、西岡 2:内野、後藤、中島、土川 1:加藤(博)
1982年度 (昭和57年度)							4:西尾、佐々木、多門、西岡 3:内野、後藤、中島、土川 2:加藤(博)
1983年度 (昭和58年度)					58.6.11 OB会 東館本店(伏見)		4:内野、後藤、中島、土川 3:加藤(博)
1984年度 (昭和59年度)							4:加藤(博)
		この頃から、メンバーの把握ができなくなり、昭和60年になってから解散(廃部)になったものと推測される。					
名古屋大学郷土研究会OB会設立(新たにOB会としてスタート)							
	総会開催年月日	開催場所・参加人数	イベント・参加人数	合同踏査会	本部踏査会	関東支部踏査会	
2009年度 (平成21年度)	平成21年6月27日 (第1回)	鶴舞・銀座ライオン 13名 西川会長、梶浦支部長	イベントなし				
2010年度 (平成22年度)	平成22年6月26日 (第2回)	鶴舞・銀座ライオン 17名	イベントなし				
2011年度 (平成23年度)	平成23年6月18日 (第3回)	名駅・パンケトルーム 20名	イベントなし (第4回からイベント開催を決定)				10/15 史跡めぐり(富岡製糸場、小幡)
2012年度 (平成24年度)	平成24年6月16日 (第4回)	名駅・パンケトルーム 21名	大曾根～徳川苑～市博物館 ～豊田佐助邸 19名				4/7 春の集い(皇居東御苑・日本橋界限) 7/28 興津宿～由比宿踏査と東海道宏茂美術館見学 12/8 秋の集い(吉良邸かせ泉岳寺へ)
2013年度 (平成25年度)	平成25年6月8日 (第5回)	名駅・パンケトルーム 23名	覚王山～末盛城址～名古屋大 22名	11/23 姫街道と奥浜名湖を歩く			4/27 春の踏査会(杉山城、菅谷城) 10/5 秋の踏査会(滝山城)
2014年度 (平成26年度)	平成26年6月7日 (第6回)	名駅・パンケトルーム 19名	小牧城とその周辺 15名	2/10～14 4イ・ハンコク タイ遺跡めぐり(高木氏案内) 3/28 丸子宿を行く	4/12 岐阜城を訪ねる		4/19 春の江戸踏査会(浅草界限散策) 11/25 秋の踏査会～幕末ゆかりの地と二つの台場探訪 12/6 秋の江戸踏査会～日本橋界限江戸旧跡巡り
2015年度 (平成27年度)	平成27年6月13日 (第7回)	名駅・パンケトルーム 18名 柴田会長、西川支部長	大高城址と氷上姉子神社～ 丸根岩～鷺津岩 15名	2/10～14 ハンコク、カンチャプリ 遺跡巡り(高木夫妻案内)	9/12 池田宅見舞訪問 10/24 安土城と周辺散策 12/12 熱田神宮と七里の渡し・堀川プロムナドコース		4/11 春の江戸踏査会～赤坂の坂巡り 10/3 石垣山城・小田原城探訪 11/4 秋の江戸踏査会～谷中・上野界限探訪
2016年度 (平成28年度)	平成28年6月11日 (第8回)	名駅・パンケトルーム 20名	犬山城とその城下町 15名	3/18 井伊ノ谷(龍潭寺・井伊 城址)～浜松城	4/24 関ヶ原古戦場 5/22 池田夫妻との昼食会 10/29 江南歴史散策道 信長・生駒(吉乃)コース 12/3 三の丸・外堀・四間道・円頓寺・ノリタケの森		4/9 江戸踏査会(湯島・本郷・小石川界限) 9/24 関東古城巡り (八王子城) 11/12 江戸踏査会(市ヶ谷・四谷・新宿界限) 1/28 江戸踏査会(新橋・虎ノ門・塚田門・三宅坂・半蔵門界限)
2017年度 (平成29年度)	平成29年6月10日 (第9回)	名駅・パンケトルーム 19名 柴田会長、梶浦支部長	やっとかめの名古屋城 名古屋城・本丸御殿とその周辺 16名		10/28 美濃路・起宿を行く 12/16 中村遊郭から中村公園を歩く 1/9 梶浦さんと懇親会(三水会・名駅)		4/22 鎌倉踏査会(東勝寺～源頼朝墓～報国寺～朝比奈切通し) 10/14 本佐倉城、佐倉城探訪 12/16 王子・泉橋界限探訪 2/10 博物館見学(新宿消防博物館・歴史博物館)
2018年度 (平成30年度)	平成30年6月9日 (第10回)	名駅・パンケトルーム 19名	大樹寺から岡崎城へ ～家康ゆかりの場所を訪ねて～ 16名		7/25 掃国中の高木市と懇親会(三水会・名駅) 11/17 彦根城・佐和山城踏査(山岸・小澤氏参加) 12/15 産業技術記念館中止、忘年会のみ開催		5/18 鎌倉踏査会～福楽寺・福楽寺坂切通・御霊神社・長谷寺等 11/3 関東古城めぐり～兼輪城 1/19 江戸踏査会～富岡八幡宮・深川不動堂
2019年度 (令和元年度)	令和元年6月8日 (第11回)	名駅・パンケトルーム	JR清洲駅から名鉄須ヶ口駅へ ～美濃路、清洲宿を行く～		4/10 高木氏外から掃国、三水会参加		4/20 鎌倉踏査会(扇ガ谷地区)
2020年度 (令和2年度)	令和元年6月13日 (第12回)	名駅・パンケトルーム	志段味(汐ガミ)古墳群(予定)				

記事 写真で確認(柴田)

S43. 5. 5 新入生歓迎踏査会 小幡・長久手 参加者: 津坂・山岸・西川(義)・西川(洋)・杉浦(秀)・塚本・寺本・井村・伊藤・池田・水野・柴田・杉浦(孝)・伴

S43. 8. 26~8. 30 夏合宿 保福寺で宿泊・保福寺峠(公民館で宿泊)・松代・滝沢城址・川中島古戦場・真田家別邸の庭・上田城・海津城址・善光寺・松本城(信州大学教育学部あけぼの寮で宿泊)  
参加者 山岸・梶浦・西川(義)・西川(洋)・寺本・井村・杉浦(秀)・塚本・伊藤・百瀬・柴田(実行委員長)・平野・杉浦(孝)・伴・水野・鈴木・高木

S43. 10. 7~10. 9 奈良周辺実地踏査 明日香・西の京・法隆寺 石舞台古墳・薬師寺・唐招提寺・西大寺・慈光院・松尾寺 奈良大教育学部寮で宿泊 参加者: 寺本・柴田・水野・池田・梶谷(経済)・鈴木・平野・浅井(農学)

S44. 6. 29 名大・名女大合同実地踏査 岡崎を歩こう(岡崎城~大樹寺) 参加者: 西川(部長)・水野・杉浦・池田・鈴木・柴田・高木・堀井・鈴木 名女大: 青井・鈴木・藤森・青木・兼石・山本・畑・大島

S44. 7. 30 名大・名女大明治村合同ハイキング 参加者: 杉浦・鈴木・柴田・高木・名女大: 鈴木・鈴木・青木・山本

S44の夏頃 徹夜歩行 野間~内海 参加者不明

S45. 5. 1 新入生歓迎踏査会 松平郷(松平神社、高月院)・大給城址 参加者: 高木(部長)・池田(副部長)・水野(副部長)・杉浦・伴・柴田・鈴木・堀井・加藤・設楽・近藤・津

S45. 5. 24 名大・名女大合同ハイキング 森林公園 参加者: 名大17名、名女大22名

S55. 1. 3 伏見の東館本店でOB会を開催、S58. 6. 11 場所不明(東館本店か) OB会を開催(名大祭)

西川(義): 1967年度の夏合宿は「飛騨路」だと思う。「長篠城~鳳来寺」は1968年度の春合宿ではないか。鳳来寺の合宿の際、小川知子の「初恋の人」をラジオで聞いた記憶がある。調べてみたら「初恋の人」は1969年1月のリリースですが「中津川~馬籠~妻籠~南木曾」は1969年夏合宿では。テントを担いで屋外でテントを張った記憶がある。

梶浦: 古い名簿にS59年卒見みに内野正、後藤龍己、中島逸郎、土川裕司。S60年卒見みに加藤博一の記載。1996年春の合宿で奈良で奈良女子大の人と交流。柳生街道で偶然県立女子大学の郷土研究会と出会う。月ヶ瀬で地元青年団、堀井: 夏の合宿の記憶 44年度中津川~馬籠~妻籠~南木曾 45年度信州美ヶ原~和田峠~霧ヶ峰~白樺湖 46年度飛騨(白山日帰り登山) 47年度信州清里高原(赤岳日帰り登山)

北川: S46年の白山登山とS47年の八ヶ岳登山に参加。S44年とS45年の夏合宿は不参加。S46年の夏合宿は、ひるがの高原で一泊?又は立ち寄りのみ後、白山飛騨側からの平瀬道登山口の白水湖畔で二泊(ベースキャンプ)、白山日帰り郷へ立ち寄った。S47年の夏合宿は、清里美しの森(山梨県)のキャンプ場で二泊(ベースキャンプ)山梨県側からの赤岳登山道、真教寺尾根・奥境尾根登山道で下山。白山よりハードの記憶。清里からの帰りに小膳の懐古園に立ち寄った

高島: S40年には、S42、43年までの会員とでバスハイクサークルの各大学の活動をどのようにするかを議論を進めていた。バスハイクサークル自体、出かける前に調査したりなど郷土研究会に似た活動をしていた。名大ではS42年卒業まで郷土研究会の前身になるような活動を始めた。これらの活動に時々同行していたが、郷土研究会に移行するような計画までには至っていなかった。その後の詳細は不明であるが、42年、43年卒業のメンバーが中心になって郷土研究会を。発足は多分、41年あるいはそれ以降、正確な発足は保坂、松山、片山、津坂さんが覚えていと思う。郷土研究会のOBは、正確にはS42年卒業生以降で、S39年から41年卒まではバスハイクの会員と言える。